

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日 時	平成28年10月31日(月) 午後1時30分から午後2時37分まで
3	会 場	丸子ふれあいステーション 3階会議室
4	出席者	久保田和英会長、工藤裕子副会長、大神文子委員、小澤厚委員、掛川忠康委員、金井良光委員、後藤有希委員、櫻井義明委員、佐藤重喜委員、田村裕子委員、永井静江委員、牧内由貴委員、八木沢啓一委員、横山佳栄委員、吉池美智恵委員、依田勝夫委員 【欠席委員4名】
5	市側出席者	谷仲丸子地域自治センター長、手塚丸子地域自治センター次長兼地域振興課長、石井丸子地域教育事務所長兼地域振興課政策幹、土屋市民サービス課長、竹花建設課長、芦田建設課政策幹、藤極丸子・武石上下水道課長、池内丸子学校給食センター所長、手塚丸子消防署長 (事務局)柳沢地域振興課課長補佐兼地域政策係長、清水担当幹、竹花主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	1人 ・ 記者 2人
8	会議概要作成年月日	平成28年11月8日

1 開 会 (手塚センター次長)

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1) 市民活動団体交流会の開催および担当委員の選任について

- ・本年度も開催することに決定。日時と詳細は後日、担当委員により調整する。
- ・6名の担当委員を選出。小澤委員、後藤委員、佐藤委員、吉池委員、及び久保田会長、工藤副会長。

(2) 持ち寄り基金の利用状況の確認と今後の方向性について

・センターから合併当初からの丸子地域の地域振興事業基金(持ち寄り基金)の活用状況の説明を受け、状況を確認。

・以降、協議

(委員) わがまち魅力アップ応援事業の上乗せ分として使われたのは平成22年度のみか。

(行政) 平成21年度と22年度の2年間でした。

・丸子地域自治センター長より補足説明。前回の地域協議会の中で合併に係る検証に関連して、持ち寄り基金の活用実績を本日提示した。市民協働事業等で大きなものは依田川リバーフロント事業(現在造成中)。文化的面では、木曽義仲交付金、わがまち魅力アップ応援事業の上乗せ分、その他の文化振興事業で老朽化の信州国際音楽村の改修等に使われている。

(会長) この10年間で持ち寄り基金が半分に。本来は市の一般会計予算で行われるべき事業に、持ち寄り基金を使っていないか。そこも検証が必要。

(委員) 公民館の改修に持ち寄り基金が使われるのはいかがなものか。こういったものには本来、持ち寄り基金が使われるべきではない。基金が無くなった後の対応はどうか。

(行政) 18年と19年の公民館改修は、合併直後で旧市町村の補助金交付要綱を適用して、いわば駆け込み的な使い方だった。補助金の統一がなされると、これらは改修が難しかったと思われる。持ち寄り基金がなくなった際には、市の一般財源に頼るしかない。

(委員) 基金は、現在ある分のみで終わりということですね。わかりました。やはり、24年の丸子公民館改修と25年の公民館駐車場舗装工事は一般財源でやるべきではなかったか。

(行政) 毎年年度当初に、地域協議会に持ち寄り基金の予算の説明と適用を説明しています。

(委員) 持ち寄り基金について、他の地域の状況はどうか。基金の残はどうか。

(行政) 9月議会の委員会でも質問があった。全地域とも7項目の該当項目に照らして適用している。次回までに公民館関係への持ち寄り基金の充当など、他の地域の状況をお調べします。

(行政) 基本は新市の合併協定書に基づいて、一体化の醸成の中で一元的にやっていくべき。しかし、地域ニーズに対応した施策展開も必要。そのニーズに対応するため、基金の充当をしてきた現状があ

る。年に応じた事業内容に見合う分だけを充てている。

（委員）信州国際音楽村の立ち位置、帰属はどこか。平成 25 年度から 27 年度までの信州国際音楽村の修繕費用はいくらか。どこから出ているのか。財団の理事長さんも上田地域の方であり、市の一般会計で行うべきではないか。

（行政）信州国際音楽村は当時、官民一体でのスタンスで尾野山にできた。土地の一部に一般財団法人信州国際音楽村の土地がある。建物は、当時国の補助金を使い建てたもので市所有。文化振興の音楽の部分は、当初から信州国際音楽村に委託。現在は指定管理で、所管は丸子地域教育事務所。現在、経年劣化が激しい。市の予算を要求はするが十分な予算の手当てができないため、持ち寄り基金を利用した。

（会長）この地域振興事業基金（持ち寄り基金）について理解を深めるため、次回への継続審議とします。

4 報告事項

（１）分科会及び研究会での検討状況について

ア 公共交通に関する分科会

- ・9/27 に「まりんこ号」西コースに乗車してルート確認を実施。本日の全体会の前に、東コースに乗車して現ルートの確認を実施。重複等で合理的でないルート設定がある。
- ・まりんこ号は交通弱者の救済の意義もあり、通院や買い物での利用度が上がることが優先事項。
- ・東コース・西コースに分けずに毎日運行を検討すべき。大屋駅への乗り入れも実現したい当初からの課題である。

イ 丸子地域の子育て支援に関する分科会

- ・現在、上田市と東御市の病児保育の現状に加えて、丸子地域のファミリーサポートの現状の確認を行っている。
- ・現在、上田市のファミリーサポートは上田市社会福祉協議会に業務委託。登録の依頼会員（頼みたい方）と提供会員（あずかる方）により成るが、提供会員が少ないのが現状。保育園の送迎、児童館や塾の迎えなどの代行などの依頼もある。
- ・ファミリーサポートの周知も必要。また、経済的逼迫のご家庭も利用しやすい利用料設定や補助システムがあるとよい。

ウ 新しい観光に関する分科会

- ・信州大学繊維学部内に、富岡製糸場から岡谷市までを信州シルクロードとして産業遺産の保存や誘客増加の取組の動きがある。丸子地域も加わるとよい。

エ 丸子郷土博物館に関する研究会

- ・前回、総務課と博物館の担当職員から現状の説明を受けた。
 - ・丸子郷土博物館は町制 70 周年記念で建てられたもので、当時バブル期で来館者も多かったが、現状は減少が続いている。
 - ・平成 22 年の丸子地域協議会にて博物館機能の縮小の提案が市からあり、丸子地域協議会でも了承されている経緯があることがわかった。
 - ・松本市文書館を視察して今後のあり方を検討したい。公文書館がどういうものかを確認したい。
 - ・以降、協議
- （委員）松本市文書館が視察先に決まった理由は何か。
- （事務局）長野市と松本市の文書館視察の希望があったが、時間的制約により松本市文書館を選択。
- （分科会長）もう一つ、館内に研究スペースがあることも視察先選定の理由。

5 その他

（１）次回以降の協議会日程について

- | | | | |
|----------|--------------|-------------|------------------|
| 第 8 回協議会 | 11 月 29 日（火） | 午後 1 時 30 分 | 丸子地域自治センター 4 階講堂 |
| 第 9 回協議会 | 12 月 20 日（火） | 午後 1 時 30 分 | 丸子地域自治センター 4 階講堂 |

（２）丸子地域協議会視察について

- ・視察先：松本市文書館 日時：11 月 18 日（金）現地 14:30～（13:30 センター発）

（３）その他

●子どもの明日を考える集いについて（御案内）

- 11 月 8 日（火）18:30～ 丸子文化会館小ホールにて開催

・現在、上田市では「信州型コミュニティスクール」の設置を進めている。地域が日常的に子どもを見守り、支援。教育や学校運営方法について一緒になって話し合い、学びを支援する仕組みづくり。広報うえだ 10 月 16 日号に掲載記事あり。

● **丸子文化会館自主文化事業『クリスマス・キャロル』について（御案内）**

11 月 26 日（土）セレスホール（丸子文化会館）18:30 開演

・上田市合併 10 周年記念事業。家族そろって楽しめるミュージカル。

● **丸子地域消費生活展について（御案内）**

上田市合併 10 周年記念事業。本年、第 30 回。本年のテーマ「未来に新たな一歩を」

11 月 19 日（土）丸子文化会館小ホールにて開催。

6 閉 会

【分科会の開催】

公共交通に関する分科会

3 階第 2 会議室

丸子地域の子育て支援に関する分科会

3 階第 4 会議室

新しい観光分科会

2 階第 5 会議室

博物館研究会

3 階第 2 会議室（公共交通分科会終了後）